

社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業)

計画の名称：周南市における安心安全で快適に暮せる水環境の実現(防災・安全)

事業主体名：周南市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画の目標が上位計画等と適合している。	○
②地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
③関連する各種事業制度の計画等と整合性が確保されている。	—
II. 計画の効果・効率性	
①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
③指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④指標・数値目標の根拠が整理されている。	○
⑤十分な事業効果が確認されている。	○
⑥効果促進事業は目標達成に資する内容である。	—
III. 計画の実現可能性	
①全体事業費・要素事業の額が適切である。	○
②関連する機関との調整が図られている。	○
③交付期間中の計画管理(モニタリング・中間評価)を実施する予定である。	—

社会資本総合整備計画 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標1】	都市浸水対策達成面積を768ha(H26)から772ha(H31)に増加させる。
-------	--

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	平成27年3月時点
②実施主体	周南市
③計測手法	都市浸水対策の整備対象地域の面積(3,655ha)のうち、概ね5年に1度起こると予想される規模の大雨に対し、整備が完了している区域の面積を算出。(768ha)

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	
⑤実施主体	
⑥データの計測方法	
⑦評価値の求め方	

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	平成32年3月
⑨実施主体	周南市
⑩データの計測方法	当初現況値と同様。
⑪評価値の求め方	過去の整備実績により、整備予定面積(4ha)を算出。 (770ha + 4ha = 772ha)

※必要に応じて資料を添付してください

社会資本総合整備計画 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標2】	管渠に係る長寿命化計画等による改築延長を1.9km(H27)から3.9km(H31)に増加させる。
-------	---

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	平成27年3月時点
②実施主体	周南市
③計測手法	平成26年度末時点で、管渠の布設替え・更生等で改築を実施した延長を算出。(1.9km)

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	
⑤実施主体	
⑥データの計測方法	
⑦評価値の求め方	

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	平成32年3月
⑨実施主体	周南市
⑩データの計測方法	当初現況値と同様。
⑪評価値の求め方	平成25年度に策定した長寿命化計画を考慮し、改築延長を算出。 (1.9km+2.0km=3.9km)

※必要に応じて資料を添付してください

社会資本総合整備計画 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標3】	長寿命化計画に基づき、処理場設備の長寿命化対策済割合を18%(H27)から54%(H31)に増加させる。
-------	--

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	平成27年3月時点
②実施主体	周南市
③計測手法	長寿命化計画に基づく対策が必要とされる設備数(11設備)に対する対策済設備数の割合で算出。(現況値:2設備/11設備=18%)。 対象設備:【徳山中央浄化センター】4設備(最初沈殿池設備、最終沈殿池設備、管理棟、中央監視設備)、【徳山東部浄化センター】4設備(沈砂池設備、ポンプ設備、汚泥脱水設備、監視制御設備)、【新南陽浄化センター】3設備(反応タンク設備、最終沈殿池設備、汚泥洗浄タンク設備)

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	
⑤実施主体	
⑥データの計測方法	
⑦評価値の求め方	

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	平成32年3月
⑨実施主体	周南市
⑩データの計測方法	当初現況値と同様。
⑪評価値の求め方	処理場の長寿命化計画による、11設備に対する対策済設備数の割合を算出。 (6設備/11設備=54%)

※必要に応じて資料を添付してください

社会資本総合整備計画 成果目標値(定量的指標)の「評価方法書」

【指標4】	長寿命化計画に基づき、ポンプ場設備の長寿命化対策済割合を0%(H27)から100%(H31)に増加させる。
-------	---

A: 計画策定時の「当初現況値」の求め方	
①現況値の基準時点	平成27年3月時点
②実施主体	周南市
③計測手法	長寿命化計画に基づく対策が必要とされる設備数(10設備)に対する対策済設備数の割合で算出。(現況値:0設備/10設備=0%)。 対象設備:【江口ポンプ場第2系】5設備(電気設備、ゲート設備、汚水ポンプ設備、スクリーンかす設備、計測設備)、【古開作ポンプ場】5設備(受変電設備、計測設備、ゲート設備、汚水ポンプ設備、スクリーンかす設備)

B: 中間評価時のデータの計測方法と「中間目標値」の求め方	
④計測時期	
⑤実施主体	
⑥データの計測方法	
⑦評価値の求め方	

C: 事後評価時のデータの計測方法と「最終目標値」の求め方	
⑧計測時期	平成32年3月
⑨実施主体	周南市
⑩データの計測方法	当初現況値と同様。
⑪評価値の求め方	ポンプ場の長寿命化計画による、10設備に対する対策済設備数の割合を算出。 (10設備/10設備=100%)

※必要に応じて資料を添付してください